

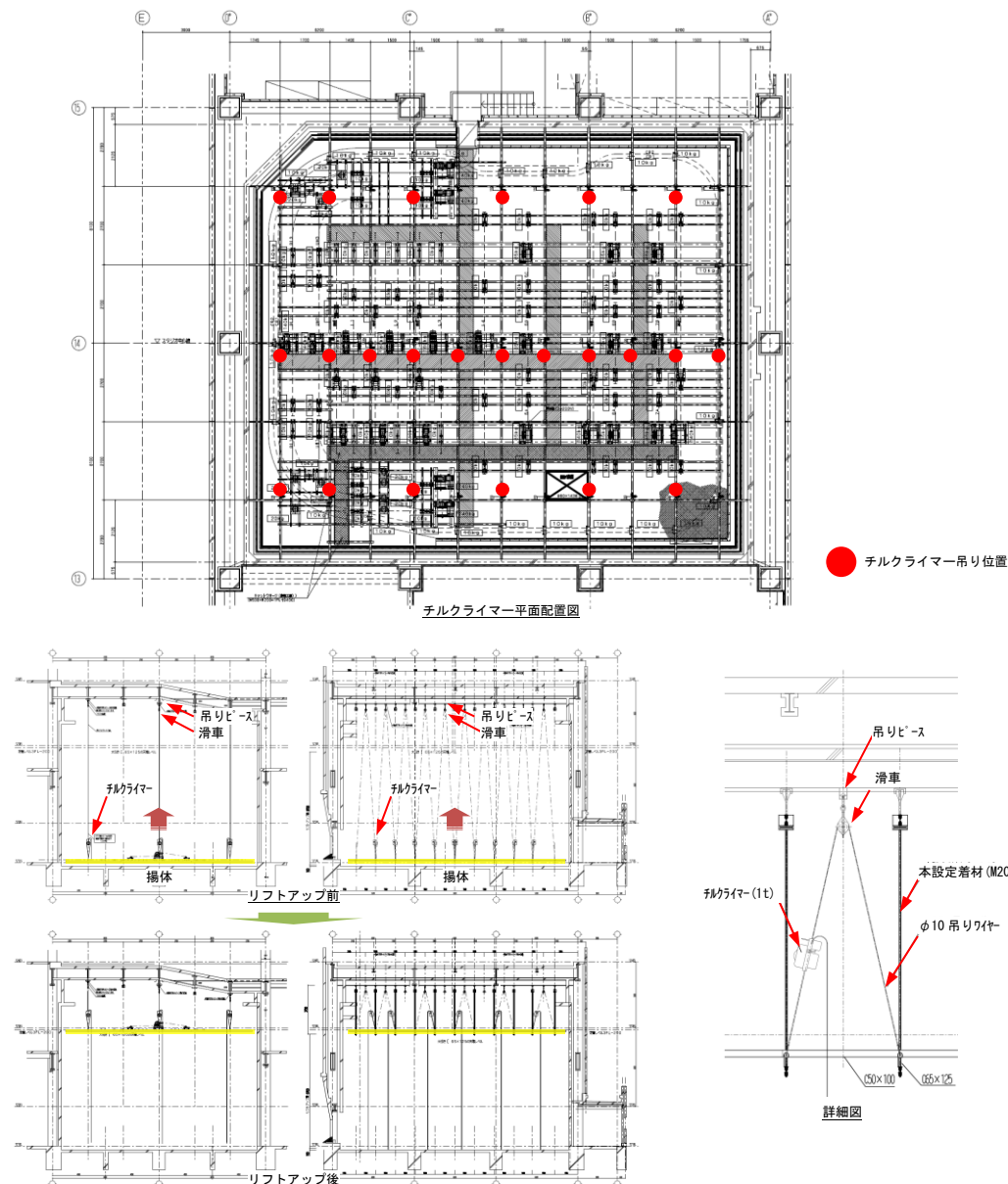
□ 建物概要



建物名称	さいたま新産業拠点(SKIPシティ)A街区建設工事
所在地	埼玉県川口市上青木三丁目地内
建築主	埼玉県
設計・監理・施工	石本、松田平田共同企業体・(株)竹中工務店 JV
建物用途	県映像関連施設占有面積
建物階数、高さ	B1・F9・P2、設計 GL+42, 600 mm
建築面積	7,795.00 m ² (A2 街区全体)
延床面積	48,931.78 m ² (A2 街区全体) 19,572.48 m ² (県映像施設)
構造種別	地上 S 造 (CFT 造) 地下 SRC 造
工期	2000 年 12 月 26 日～2003 年 1 月 31 日
工法	リフトアップ工法
リフトアップ重量	11,827kg
グリッド鉄骨寸法/数量	14.163×16.463=233.17 m ²
リフトアップ揚程	8700 mm
リフトアップ装置	チルクライマー (1t ダブル掛け) 2 2 台
計測システム	変位計 (レーザー変位計)
備考	

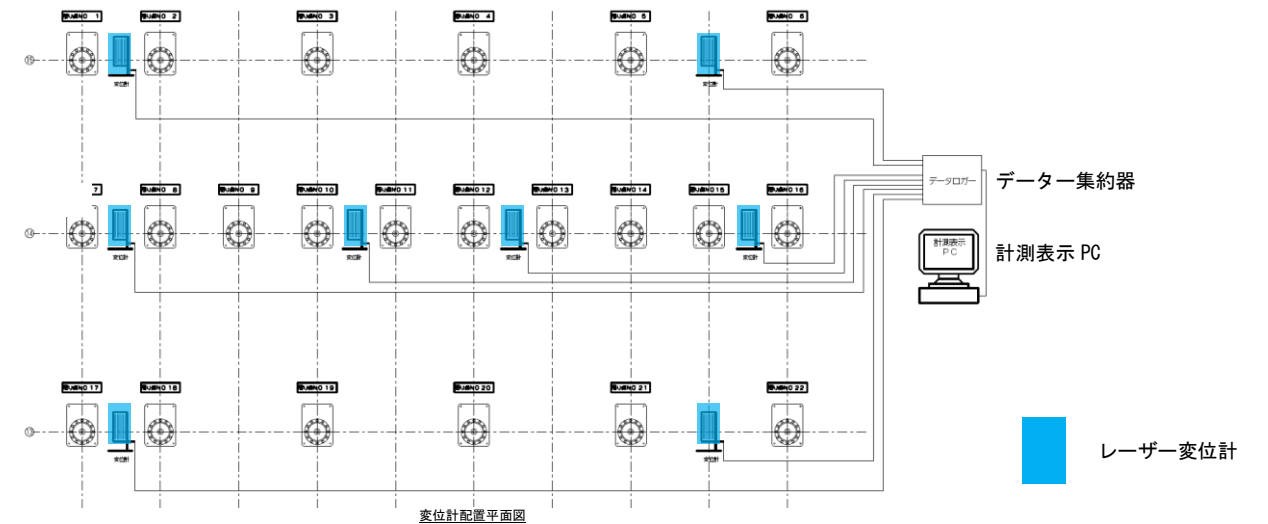
□ リフトアップ工法

各部の点検作業 (通信連絡設備)
チルクライマー作動準備完了・確認
人員の配置 (作業開始合図)
地切りリフトアップ 200 mm
揚体及び揚荷装置状況確認
リフトアップ 1500 mm
揚体及び揚荷装置状況確認、レベル調整
仮支保工設置
リフトアップ及び本設吊り材セット
リフトアップ 1000 mm/回
定着-50 mmまでリフトアップ
本設吊り材仮セット
定着高さ調整 (吊り点個々に実施)
周辺先行高さ基準値からの確認
全点本設吊り材の取付状況確認
荷重変換 (揚荷装置から吊り材へ)
揚荷装置解体・撤去作業
仕上げ工事着手
リフトアップフロー



□ 計測管理

本工事における揚体は、チャンネル材で構成されるグリッド鉄骨（柔らかい）であり、その鉄骨上にスタジオ関連と天井仕上げ材用の資機材を搭載し、リフトアップを行う。吊り点数は全体で22点あるが、その中で最も負担重量の軽い部分と最も重い部分を抽出し、合計8点のポイントについて計測（鉛直変位）を行う。リフトアップ中（上昇中）の管理値は±50 mmとし、1000 mmリフトアップ毎に揚体のレベル調整を行う。



□ 施工状況写真

